

事業種類		治山・砂防		事業名		山地治山(予防治山)									
市町村名		佐久市		ふりがな 箇所名		いんない 印内		事業年度 (完了年度は見込み)		H26 年度～ H26 年度					
事業概要	区分	事業内容				事業費(千円)		財源内訳(千円)							
	全体	山腹工 0.30ha 法枠工(簡易法枠) 1,200m2				13,000		国庫		その他		県債		一般財源	
	H26年度	同上				13,000		6,500				5,850		650	
箇所評価	区分	評価項目・指標等				評価区分				①得点	②重み 係数	③評点 (①×②)			
	必要性	保全対象人家戸数		■ 10戸以上		□ 1～9戸		□ 0戸		25					
		保全対象公共施設		■ 2箇所以上		□ 1箇所		□ なし		25					
		保全対象に災害時要援護者関連施設があるか		□ 重要施設		□ 一般施設		■ なし		0					
		事業目的(保安林・林業用施設)		■ 「広域基幹林道」又は利用区域500ha以上の林道又は保安林率50%以上		□ 保安林率30%以上50%未満又は流域対策上保全すべき森林あり		□ 保安林率30%未満		40					
	小計								90		0.2		18		
	重要性	過去の災害履歴		□ 過去5年に1回以上		■ 災害履歴地		□ なし		20					
		交通遮断による地域経済などへの影響		■ 大		□ 中		□ 小		30					
		防災計画上の位置づけ		■ あり		□ なし				40					
		小計								90				0.1	
	効率性	費用対効果(B/C)		■ B/C2.0以上		□ B/C1.0以上2.0未満		□ B/C1.0未満		40					
		事業効果の早期発現度(事業年数)		■ 3年未満		□ 3年以上5年未満		□ 5年以上		40					
		流域の総合調整		□ あり		■ なし				10					
		小計								90				0.1	
	緊急性	最寄の保全対象までの距離		■ 50m未満		□ 50m以上200m未満		□ 200m以上		20					
平均溪床勾配(平均山腹勾配)		■ 10°以上(30°以上)		□ 5°～10°未満(20～30°未満)		□ 5°未満(20°未満)		25							
下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)		□ なし		□ あり(概ね満砂)		■ あり(ポケットあり)		5							
山地災害危険地区危険度		□ Aランク		■ Bランク		□ Cランク □ なし		25							
小計								75		0.4				30	
計画 熟度	地域からの要望		■ 地域住民の内発的な活動が強い		□ 市町村等からの要望有り		□ 特に要望がない		40						
	事業情報の共有		□ 広く一般に周知		■ 関係者中心に周知		□ 特に周知していない		25						
	県民参加と協働		□ あり		■ なし				10						
	小計								75				0.2		15
費用対効果(B/C)		20.71		評価の合計								81			
事業 周 辺 環 境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景		当該地は、昭和56年度に復旧治山事業により、谷止工及び山腹工により溪間及び山腹崩壊斜面の安定を図ってきた。平成24年7月20日の豪雨(44.0mm/h)により山腹崩壊が拡大した。山腹崩壊は降雨時等に徐々に拡大し、崩落土砂が溪流を埋設し人家等への被害が懸念されるようになった。												
	地域からの要望経緯		平成24年7月20日の豪雨により山腹斜面が崩壊し、その後の降雨による拡大崩壊が見られ、崩落土砂に伴う溪流の埋設による土砂災害が懸念されることから、平成25年4月に区長より佐久市役所に事業実施要望がなされた。												
	事業説明等の経緯		平成25年4月に佐久市役所・地区役員・周辺住民・地方事務所と現地調査を実施し、現況の確認等を行った。平成26年4月に地区住民・地権者を対象に、事業説明会開催の予定。												
	環境・景観への配慮項目		特になし。												
	他事業・プロジェクトとの関連		特になし。												
	特記事項		特になし。												
地域の合意形成		□ 全員賛成		■ 概ね賛成		□ 過半数賛成		□ 動向不明							
部意見	豪雨の度に、山腹崩壊が拡大している。下方に人家等、重要な保全対象が存在することから、対策を図る必要がある。				行政改革 意見	H24.7豪雨で山腹崩壊が発生。H25春にも倒木が発生するなど不安定な斜面状況であることから、必要性、重要性、緊急性が認められる。									